

小学校第2学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時
場 所 〇年〇組教室
指導者 教諭 〇〇 〇〇

1 学習構想

主題名	郷土の文化への愛着（内容項目C（15）：伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度）	
ねらいと教材	（1）ねらい 祭りの話を聞いた時のまさおくんの気持ちを考える活動を通して、祭りには人々の願いが込められていることに気づき、郷土の伝統や文化に関心を持ち、親しもうとする態度を養う。 （2）教材名 まつりに こめられた ねがい 出典：「くまもとのこころ 小学校1・2年（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1（多面的・多角的に考える）	評価の視点2（自己の生き方について考える）
	登場人物の気持ちを考えることを通して、祭りについて多面的・多角的に考えている。	地域の祭りに関心を持ち、参加したり、親しもうとしたりすることの大切さについて、これまでの自分を振り返って考えている。
目指す児童の姿		
身近なお祭りや行事には、様々な思いや願いが込められていることを知り、 親しみをもって関わろうとする児童		
主題に迫る学習課題（本時）		本主題で働かせる見方・考え方
まつりのひみつを見つけよう。		祭りに込められた人々の思いや願いについて、多面的・多角的に捉え、親しみをもって大切にしていこうと考えること。
内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導		
各教科等	道徳科	特別活動（学級活動）
「国語」（小1） ○「にほんのうたをたのしもう」（2月） 「音楽」（小2） ○「リズムをかさねて楽しもう」（9月） ○「タやけこやけ」（12月） 「各教科等の学習活動」 ○各授業の振り返りの時間を通して、学んだこととこれまでの自分をつなげたり、これからの学びに向かう意欲につなげたりする。	「まつりに こめられた ねがい」【本時】 C（15） 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 主題名 郷土の文化への愛着 祭りの話を聞いた時のまさおくんの気持ちを考える活動を通して、祭りには人々の願いが込められていることに気づき、郷土の伝統や文化に関心を持ち、親しもうとする態度を養う。 「ながいながいつうがくろ」（東京書籍） C（15） 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 主題名 私たちの町 「みんなのどうぶつ園」（つなぐ～熊本の明日へ～） C（15） 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 主題名 地いきにあるすきな場しょ すきな人 すきなこと	「学級活動」 学級活動（1） ○「ふれあいフェスタの準備をしよう」（10月） ○「豆まき集会をしよう」（2月） 地域・家庭との連携 ○「ふれあいフェスタ」（11月） ○「桜まつり」（3月）

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）		
本主題は、第1学年及び第2学年の内容項目 C（15）「我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと」を基にしたものである。 小学校の低学年段階では、昔の遊びを体験したり、地域の行事などに参加して昔から伝わるものに触れたりする機会が多くなる時期である。 そうした中で、自分が住む町の身近なお祭りや行事などに直接触れる機会を増やし、そこに携わる人々の思いや願いを知ること、郷土の伝統や文化に愛着をもち、親しみをもって大切にしていこうとする態度を養うことが大切となる。		
本主題における系統		
小学校第2学年【本時】 C（15）伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 教材名「まつりに こめられた ねがい」 主題名 郷土の文化への愛着	小学校第2学年 C（15）伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 教材名「ながいながいいうがくろ」 主題名 私たちの町	小学校第2学年 C（15）伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 教材名「みんなの動物園」 主題名 地いきにあるすきな場しよ すきな人 すきなこと
児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）		
本学級の児童数（〇〇名） ■主題に関する意識の状況 本主題に関わる生徒の実態（アンケート 人調査） ①地域のおまつりに行ったことはありますか？ はい・・・人、 いいえ・・・人 ○「はい」と答えた人は、そのおまつりに行ったときのかんそうを書いてください。 ・ ・ ・ ②あなたがすんでいる地域のおまつりについて、知っていることがあれば教えてください。 ・「〇〇まつり」…※知っていること（だれが、どこで、どんなことをするかなど） ・ ・ ・ ■考察		
教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）		
本教材「まつりに こめられた ねがい」は、八代市の「妙見祭」について取り上げたものである。 本教材では、祭りとは単ににぎやかに楽しむためだけの行事ではなく、そこに生活してきた人々の思いや願いが込められていることに気付かせ、自分たちの身の回りにある他の地域の行事や催しについても、見つめ直すことができる教材である。 本教材を活用した授業においては、祭りの話を聞いたときのまさおくんの気持ちの変化に着目し、祭りに込められた人々の思いや願いに気付かせるとともに、祭りとはどんなものなのか考える活動を通して、郷土の伝統や文化に親しみをもつ態度を養っていきたい。		

3 指導に当たっての留意点

【主体的な学びの工夫】（学習過程の工夫）

導入の場面では、祭りに対するイメージを引き出しながら地域の祭りに触れ、本時の学習課題につなげ、教材に入る。

【対話的な学びの工夫】（学習過程の工夫）

ペアやグループ活動では、自分以外の考えを理解することにつなげる。そして、その後もう一度自分の考えを整理し、深めさせる。全体での対話では、それぞれの考えを聞き、共感したり、新しい気づきを伝えたりするようにする。

【深い学びの工夫】（学習過程の工夫）

終末の場面を十分設定し、授業を通して考えた「まつりのひみつ」について、これまでの生活経験やこれからの自分の生き方に重ね合わせて考え、交流したり、文章に綴らせたりする。

4 本時の学習

(1) ねらい

祭りの話を聞いた時のまさおくんの気持ちを考える活動を通して、祭りには人々の願いが込められていることに気づき、郷土の伝統や文化に関心をもち、親しもうとする態度を養う。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	1 本時の学習課題を知る。 ① 地域の祭りについて関心をもつ。 ○祭りに行ったことはありますか。祭りについて、どんなことを思い浮かべますか。 ◇○○祭りに行ったことがある。神輿を見たよ。 ◇店がいっぱいあって、かき氷を食べたよ。 【学習課題】 まつりのひみつを見つけよう。	○地域の祭りの写真等を提示しながら、ウェビングマップで祭りのイメージを整理する。 ○教材DVDの導入部分を視聴させ、八代妙見祭について紹介する。主人公の挿絵を提示し、児童の経験と本教材、本時の学習課題へつなげる。
展開	30分	2 教材を読み、道徳的価値について考える。 ① 話を聞いた感想を交流する。 ○お話を聞いて心に残ったところを教えてください。 ◇笠鉾には、願いが込められているんだと思った。 ② 「ふうん。」とつぶやきながら笠鉾を眺めているまさおくんの気持ちを考える。 ○「ふうん。」とつぶやいているまさおくんは、どんな気持ちで笠鉾を眺めていたでしょう。 ◇早くガメさん来ないかな。つまらないな。 ◇あれは何だろう。 ③ おじいさんから、今まで知らなかった祭りの話を聞いた、まさおくんの気持ちの変容を考える。 【中心発問】 今まで知らなかったまつりの話を聞いて、まさおくんはどんなことを思ったのでしょうか。 ◇最初は、興味がなかったけど笠鉾についてもっと知りたいと思った。 ◇笠鉾は、一つ一つ違って、願いが込められていると知って、びっくりした。 ◇他の笠鉾には、どんな願いが込められているのかな。 ④ 学習課題について考える。 ○祭りには、どんなひみつがあるでしょう。 ◇みんなの願いが込められている。 ◇昔から、幸せを願っている。 ◇みんなが大事にしている。	○児童に DVD を視聴させながら、話の流れに沿って、黒板に挿絵等を貼っておく。 ○児童に問題意識をもたせるようにする。2～3人程度（多くならないよう）に発表させ、後の発問につなげるようにする。 ○まさおくんがガメを楽しみにしており、笠鉾には関心がもてなかった気持ちに共感できるように、自我関与させる。 ○おじいさんの話を聞く前後で、まさおくんの表情の挿絵を使って比較し、気持ちの変化を捉えやすくする。 ○おじいさんの話を聞く前後で、まさおくんの祭りに対する気持ちが変化していることを押さえる。 ○「祭りには、どんなひみつがあるか」を問い、最初のウェビングマップにチョークの色を変えて付け加えることで、児童自身が本時の学習の学びを視覚的にとらえることができるようにする。 ○祭りを続けていくために、自分にできることはどんなことが問いかけ、終末につなげる。
終末	10分	3 自分自身を振り返る。 ① 地域にある祭りについて振り返る。 ◇自分の地域のお祭りには、どんな願いが込められているのかなと思いました。 ◇今までは、ただのイベントだと思っていたけどお祭りにいろいろなひみつがあることを知りました。 ◇これからもお祭りを大切にしていきたい。	○地域の祭りに触れ、「今まで、今日学んだこと、これから」等の視点で振り返りを書くようにする。

【評価の視点1】登場人物の気持ちを考えるを通して、祭りについて多面的・多角的に考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】地域の祭りに関心をもち、参加したり、親しもうとしたりすることの大切さについて、これまでの自分を振り返って考えている。

(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

まつりに こめられた ねがい

かざり

ガメ

まつりのしめ縄を見つけよう。

ただのかざりじゃ なかったのか。
しつぷにわがや こめられてるんだ!
ほかのかざりやガメには、どんなわがや
いみがあるんだろう?
おもしろいな。
おじいちゃん、おしえてくれて
ありがとう。
ころが こめられている。

やたいでみせ (りきざお) ヨーヨー

おどり

はな火

まつり

いろいろな まつりくふうがある

うけつがれている (まがしの人といま)

みんなの

いいことが ありますように

ちいきの祭り の写真

今まで

今がほんと

これから

【I C T 活用計画】

例：教師による教材提示の計画，I C Tを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等

導入 地域の祭りの写真等の提示

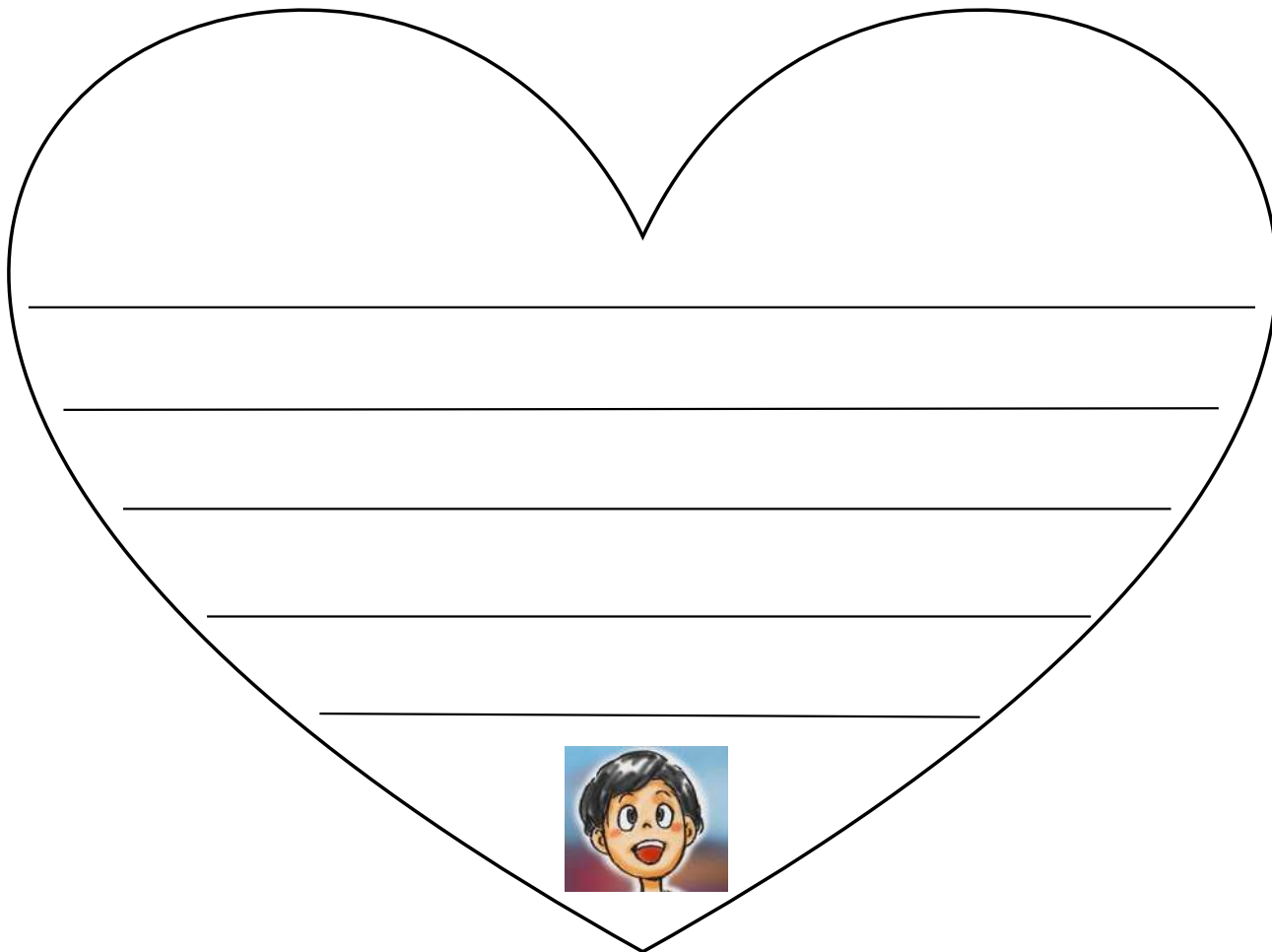
展開 DVDの視聴

終末 地域の祭りの写真等の提示

「まつりに こめられた ねがい」

ねん 年	くみ 組	ばん 番	なまえ 名前
---------	---------	---------	-----------

☆^{いま}今まで知らなかったまつりの^し話を^{はなし}聞いて、まさおくんはどんな^きことを^{おも}思ったでしょうか。



★ふりかえろう（①^{いま}今までは ②^{きょうまな}今日学んだこと ③これから）

